

議員研修報告書

報告者 (会派等) 創政・改革クラブ

1. 視察期間	令和4年11月15日(火)	
2. 研修テーマ	<p>地域の人・あるものを活かす</p> <p>持続可能なまちづくり</p> <p>～人的資本、統合思考の地域づくりでの活用法～</p>	
3. 研修項目	<p>1. 地域の人的資本戦略</p> <p>～変化の時代に持続可能な地域をつくるための「人への投資」とは？</p> <p>2. 社会・環境・経済の好循環を生み出す統合思考の地域づくり</p>	
4. 講師	<p>ソーシャル・プロジェクト・プロデューサー</p> <p>慶応義塾大学・立教大学大学院非常勤講師</p> <p>広石 拓司 氏</p>	
5. 研修内容	ア. 概要	<p>①財界と政府が進める「人材から人的資本への考え方のシフト」</p> <p>②地域にも重要な「人的資本」の考え方</p> <p>③激しい変化の時代に、地域を支える「人」とは</p> <p>④目指したい将来の姿から人を捉えなおす</p> <p>⑤地域の強みとなるダイバーシティ&インクルージョンとは</p> <p>⑥地域にある人の力を活かすための対話と学びの場づくり</p> <p>⑦短期視点の経済優先が将来の地域にダメージを与える危惧</p> <p>⑧経済・社会・環境をバラバラに考えない統合思考とは</p> <p>⑨企業における統合思考と統合報告書</p> <p>⑩地域「6資本※財務、製造、知的、人的、社会・関係、自然」の見直し</p> <p>⑪地域づくりを包括的かつ中長期的視点から考える</p> <p>⑫未来志向のローカルガバナンス</p>
	イ. 内容	※別添付資料
	ウ. 課題	

<p>6. 今後に活かしたい学び</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人は今を支える「人材」であるだけでなく、未来に新しい価値を生み出す「人的資本」としてとらえれば、発想も変わる。 ・自治体は、市民をクライアントとして助けてあげる対象と見るのではなく、問題を共有し共に地域を創っていく仲間であると捉えたい。→役所も市民も意識を変えていく手法とは？ ・未来に向けた「人材ポートフォリオ」とは <ul style="list-style-type: none"> ①実現したい持続可能な地域の未来像を描く 例) 夫婦で子育てしながら充実した仕事ができるまち ②未来像の実現にはどういう人が必要かの整理 例) 仕事も暮らしもアクティブな人、子供の主体性を伸ばす保育士、助け合い活動を行うシニア世代、子どもの居場所づくりの担い手…etc ③地域の現状と照合→人・スキルの過不足を把握 ④必要な人を育てる・増やす・集める。後継者を育てる。今の人材のリスキル方策を考える。 ・ダイバーシティ&インクルージョン <ul style="list-style-type: none"> 《ダイバーシティの意味》 他者がいるから自分の特徴を把握できる。 自分と異なる他者の考え方の価値を受容し、多面的な視点・考えるフレームを自分自身が柔軟に使いこなせるようになる。 自分自身を確立しながら揺るがす。 ＝ダイバーシティは見直す力を高める ＝変化する環境への対応力 《インクルージョン（包摂）》 既存集団と同じになる（同化）ではなく、違いは違いのままにつながりの中に存在する。 ☆多様性と包摂（ダイバーシティ&インクルージョン）をセットで取り組むことが重要 ◎統合思考とは <ul style="list-style-type: none"> ◇組織（地域）の構成要素を統合して扱うこと。 ◇地域をシステムとして捉え、多数の要素間の相互作用によって価値が生み出される構造の理解。 ◇そのうえで地域全体として各要素が相互に補強し合うことで、短期的に求められる成果と長期的な価値構造のバランスをとれるように、より良い意思決定や資源の割当、進め方を考える。 ◎同時解決性 <ul style="list-style-type: none"> ◇環境、社会、経済はつながっている。一つの取組に当たって他の2つにも好影響を与えるような問題解決。
----------------------	--

	◇SDGs 未来都市の選定においても「環境・社会・経済の三側面をつなぐ統合的取組」が最も重視される。
--	--